

特集

# 読みメンのススメ ... 2

読みメン道場、いざ開門  
読みメンにおすすめの絵本

あなたのまちの図書館めぐり

吉賀町立図書館

海士町中央図書館

浜田市立第四中学校図書館 ..... 4

図書館の上手な使い方。

記憶をたどるお手伝いいたします。..... 6

親子読書アドバイザーが

地域で活躍しています！ ..... 8

全国図書館大会が37年ぶりに

島根県で開催されました！ ..... 8



島根県立図書館報

<http://www.lib-shimane.jp>

# 図書館だより

2012

秋冬号

2012年12月20日発行  
第198号



# 来たれ、読みメン

# 読みメンのススメ

子どもとの今を大切にできる絵本の読み聞かせ。  
 もっと男性にもしてほしいと、今号の特集を組みました。  
 「読みメン」が増えると、家庭も地域も笑顔になります。  
 どうぞお近くの方に、この特集号をお勧めください。

## 読みメン道場、いざ開門



島根県立大学  
 短期大学部  
 総合文化学科  
 教授 岩田英作

お父さんにも、子どもに絵本の読み聞かせをしていただきたい。その思いから、島根県では全国に先駆けて、平成24年度より「読みメン」普及の事業に取り組んでいます。「読みメン道場」もその一つ。日ごろ大学で学生と読み聞かせを実践している私岩田が師範役を務めさせていただきます。お父さんたちに読み聞かせをしていただくために、ポイントを以下の3か条にまとめてみました。一言でいうと、「読み聞かせって、こんなに楽しくて、家族をあったかくつないでくれるものなんだ」ということです。お父さん、どうぞお気軽に読み聞かせにチャレンジしてみてください。

### 読みメン3か条

#### 一、「読みメン」は「育メン」の第一歩

子育てってどうしたらいいのだろう？ そう思ったら、まずは絵本の読み聞かせをしてください。そこには子どもとのふれあいが自然に生まれます。読み聞かせのいちばんのコツは、自分自身が楽しむこと！ むずかしいことは何もあります。自分の気に入った絵本を好きなように声に出して読めば、それで立派な読み聞かせです。

#### 一、「読みメン」で家庭円満

お父さんが子どもに絵本を読むと、喜ぶのは子どもだけではなくありません。お母さんにとっても、お父さんが子どもに向き合う姿は大きな癒しになるのです。お父さんの読み聞かせで、家族みんなが笑顔です。

#### 一、「読みメンてちょう」は子どもへのプレゼント

「読みメン道場」では、お父様方に「読みメンてちょう」をお配りしています。絵本を読んだ日付と絵本の題名、できれば子どもの反応もひとこと添えて記録をとっておくことをおすすめします。子どもがやがて大きくなったとき、記録を綴った「読みメンてちょう」を子どもにプレゼントしてはいかがでしょうか。お金ではけっして買えない最高のプレゼントになると思います。



※「読みメンてちょう」をご希望の方、その他読み聞かせに関するご相談は、島根県立大学松江キャンパス内おはなしレストランライブラリー（Tel.0852-26-5563）まで。

# 読みメンにおすすめの絵本

「しまね子育て絵本リスト」から、選りすぐりの絵本をご紹介します。

## 『からだのなかで ドゥンドゥン』



木坂涼／ぶん あべ弘士／え 福音館書店

人や動物のからだのなかから聞こえる音が次々とでてきます。犬は「トゥックントゥックン」猫は「ウクンウクン」など、子どもが大好きな繰り返しの言葉で表現されます。お父さんが感じるままに読んでください。きっともう一度とリクエストされるはず。読み終わったら、お互いの胸に耳をあてどんな音がするのか聞きあってみてはいかがでしょうか。(H)



## 『いないいないばあ』 松谷みよ子／文 瀬川康男／画 童心社

赤ちゃんの初めての絵本は何がいいかと迷ったら、この絵本をおすすめします。両手で顔を隠して「いないいない」と言った後、両手を開いて「ばあ」と言って顔を見せて相手を驚かせる遊び。この絵本にはその遊びが取り入れられています。「にやあにやあがほらほら、いないいない」の後、タイミングよくページをめくって、「ばあ」。くまちゃんも、こんこんぎつねも…。心地よい繰り返しが赤ちゃんを喜ばせるでしょう。40年来愛され続けている絵本です。(裕)

## 『おつきさまこんばんは』 林 明子／作 福音館書店



夜空にぼっかりうかぶまんまるおつきさまの表紙がシンプルで印象的なこの絵本。雲に隠れてしまったおつきさまが再び顔を出すと、赤ちゃんもにっこり笑顔になります。おつきさまの表情やネコたちの様子の変化など、赤ちゃんといっしょに見つけて楽しんでください。“読み聞かせをするのが気恥ずかしい”という新米パパの絵本デビューにオススメです。(C)

## 『パパ、お月さまとって!』



エリック＝カール／作  
もりひさし／訳  
偕成社

お月さまと一緒に遊びたいモニカ。おとうさんは娘のために、お月さまをとりに出かけたが、お月さまが大きすぎるので持ってかえれません…。絵本の魔術師と呼ばれるエリック＝カールが自身の娘との逸話をもとに、月の満ち欠けを織り交ぜて作りました。両面展開にも工夫があって、左右上下に開いて楽しめます。おとうさんの優しさが伝わってくる絵本です。(裕)

## 『てぶくろ』 ウクライナ民話



エウゲーニー・M・ラチョフ／え  
うちだりさこ／やく  
福音館書店

くいしんぼねずみ、ぴよんぴよんがえる、おしゃれぎつね、のっそりぐま…。民族衣装を着た動物たちが次々にやって来て、それぞれが「だれ、てぶくろにすんでいるのは？」とたずね、自分も「いれてくれ」と繰り返します。七匹全員が入って、いまにもはじけそうになった手袋…。お話はその次どうなるの？とワクワクする昔話の絵本です。(裕)

## 『ちびゴリラのちびちび』

ルース・ボーンスタイン／さく  
いわたみみ／やく ほるぷ出版



ちびゴリラのちびちびは、森のみんなに愛されていました。おとうさんも、おかあさんも、ほかの動物たちもみんなちびちびのことがだいすきでした。ところがちびちびにあることがおこります…。動物たちの、表情豊かに優しく描かれた絵と、リズムカルな文章がとてもマッチしていて、声にだして読みやすく、何より「だいすき」にあふれた絵本です。(直)

## 『だんだんのみ』 (てのひらむかしばなし)

長谷川摂子／文 福知 伸夫／絵 岩波書店



お腹が痛くなった“ととさ”が、和尚さんに治し方を尋ねました。すると、腹の中に虫がいるせいだからカエルを飲むようにと教えられ、生きたカエルを飲みました。ところが今度は腹の中でカエルが跳ね回って気持ちが悪くてたまりません。次にヘビを飲みなさいと教えられますが、腹の中でヘビが這いずり回って腹がよじれてたまりません。それなら今度は…!?

文は出雲市平田町出身の長谷川摂子さん。お父さんのひざの上で体をくっつけ合って楽しめる小さなサイズの1冊ですよ♥(く)

# あなたのまちの図書館めぐり

## 吉賀町立図書館

### 「みんなの身近にある図書館へ」

育った町に、図書館がなかった。隣の町の高校に進学するまで、公共図書館に行ったことがなかった。図書館は決して身近な存在ではなかった。「私の町にも、図書館があるといい」。そんな思いを抱いている方も、きっといるだろう。今回は、町民のそばに寄って立つ、吉賀町立図書館を訪問した。

#### 「みんなが楽しみ」図書館がやって来た

2005年、六日市町と柿木村の合併により吉賀町が誕生し、旧六日市町立図書館が吉賀町立図書館となった。柿木地区から見ると、図書館は少し遠い。図書館に直接訪れるのが難しい、遠方の町民にも図書館を身近に感じさせてくれるのが、町内をめぐる移動図書館車「みたい号」だ。2週間に1回、町内の小学校を巡回している。学校の昼休みに巡回時間を設定しているため、子どもたちや先生が直接本を選ぶことができる。また、六日市中学校には月1回、朝読書用の学級文庫を50冊ずつ貸出している。本を選びに来るのは、中学校の図書委員だ。もちろん、若い町民にも図書館を身近に感じてもらえるよう、保育所にも月1回巡回している。

「みたい号」が訪れるのは、学校だけではない。町の人々は、図書館で借りた本を、町内の公民館に設置してある返却ボックスに返す。

「みたい号」は毎週1回、公民館に返却された本を回収して回る。図書館から離れたところで暮らす人々の読書生活を、「みたい号」がサポートしてくれる。

ちなみに、「みたい号」の名前の由来は「**み**んなが**た**の**し**み**い**どうとしょ号」。町の小学生による命名だ。



#### 「みんなが利用しやすい」図書館へ

今年1月、図書館の増改築工事が完了した。開架スペースが約15,000冊分広がり、広々とした印象だ。お話の部屋と多目的室も新設された。自然光が降り注ぐ幼児コーナーは落ち着いた雰囲気、ちょっとした憩いのスペースだ。

子どもたちが大好きな絵本や紙芝居は、タイトルの五十音順に配架してある。でも、小さな子どもたちには、読み終わった本を元あった場所に戻すのが難しい。そこで、本に五十音を付したテープを貼ることにした。おかげで、本を読み終わった子どもが、一人で簡単に本を戻せるようになった。



施設面でも、多機能トイレや入り口のスロープ設置など、バリアフリー化が実現した。「みんなのための図書館」は、一歩進んだ「みんなが利用しやすい図書館」に、少しずつ近づいている。

町の人口減少にもかかわらず、図書館の利用率は上昇している。増改築工事期間中であえ、貸出冊数は普段とほとんど変わらなかった。吉賀町立図書館は、すでに住民の生活に深く根ざしているのだろう。「町に図書館があってよかった」。そう声に出さなくても、当たり前のように図書館を身近に感じられるようになるといい。



#### 【吉賀町立図書館】

開館時間：9時～17時

休館日：月曜日、祝祭日、奇数月の最終水曜日、盆、年末年始

貸出冊数：本・雑誌・CD合わせて6点まで（ただしCDは2点まで）。

島根県立図書館の職員は、県内の図書館などを年2～3回訪問して、スタッフの方に直接お会いして情報交換を行っています。またその地域の特徴や暮らす人々を知り、島根県の図書館全体が活性化できるよう、ネットワークづくりに努めています。今回は吉賀町立図書館、海士町中央図書館、浜田市立第四中学校図書館をレポートします。

# 海士町中央図書館 「町の人と一緒につくる」

## 魅力その1

### 新しい本の寄贈。Iターン者からのプレゼント

どの図書館も少ない図書費をやりくりして、利用者に喜んでもらえるような本や雑誌を揃えています。海士町中央図書館の中に、ひととき新鮮な本棚があります。ビジネス書・自己啓発本のコーナーです。海士町は近年Iターンで若者が増えています。そんな移住者が図書館に新しい本を寄贈してくれることがあるそうです。まだ新しいので、他の町民にも読まれます。

新しい町民が、本を通じて、町全体を活性化しているともいえます。



Iターン者からのプレゼント

## 魅力その2

### 町民手作りの返却ボックス

図書館が閉まっている時に貸出した本を返すための返却ポスト。海士町中央図書館の入口におかれた木製の箱、これが返却ボックスです。地元の森林組合の方に作っていただいたそうです。なんともぬくもりあふれる……心のぜいたくを感じます。港や公民館など、町内7箇所に設置されているので、町民は便利に利用し、図書館・本を身近に感じていることと思います。



町民手作りの返却ボックス

### 図書館を体験しよう、海士町へ。

まだまだ語りつくせない、海士町の図書館。じつは、「島まるごと図書館構想」の取組が、全国レベルの図書館研修会などで発表されたこともあり、知る人ぞ知る図書館です。その成功事例は、資料やwebで調べることができます。しかし、ほんとうの魅力は、その図書館を体験することでしか味わえません。隠岐を訪れる機会がありましたら、ぜひ立ち寄ってみてください。ご自分の図書館と異なる読書空間に、新たな発見があると思います。

#### 【海士町中央図書館】

開館時間：9時～18時（火～金曜日）  
9時～17時（土・日・祝日）  
休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）  
貸出冊数：10冊まで。

（担当／藤田）

# 浜田市立第四中学校図書館 「生徒を育てる図書館へ」

浜田市立第四中学校は、全校生徒数55人、クラス数4クラス、図書館の面積は60㎡と小規模ですが、活発な図書館活動をしています。

司書の左田野千織さんは、四中図書館に勤務して4年目。勤務当初、図書館は暗くて訪れる生徒や先生方は決して多くありませんでした。

図書館の模様替えを始め、数々の活動の結果、今では貸出冊数が3倍に増えました。図書館は昼休みだけでなく授業間の休憩時間も生徒でいっぱいです。また、読書ノートを書く生徒が増え、「島根県読書ノートコンクール」にも参加したところ、昨年度は浜田市で2名特選を受賞しました。授業などで図書館を利用する先生方が着実に増え、「学校図書館活用コンクール」の表彰校にもなっています。

さらに四中図書館では、毎年卒業生に3年間の読書記録と、一人一人の生徒に読んで欲しい本の紹介や、励ましのコメントが書かれた「卒業記念ブックレット」を贈っています。思いが込められたブックレットは、贈られた生徒だけでなく保護者の方々からも感謝されるそうです。

最後に、今後の四中図書館の目標について司書教諭の岡本晴代先生に伺ったところ、「四中を卒業しても、自分で図書館を使って調べる能力を持った生徒を育てたい」とのことでした。また左田野司書も、「高校や大学などに入って論文などを書くときに、出典の表記などきちんと文章がかける生徒にして送り出したい。一部の生徒ではなく、全ての生徒がそうなるように頑張りたい」と語ってくれました。

これからも四中図書館は活況が続きそうです。



卒業記念ブックレット



（担当／三田）

# 記憶をたどるお手伝いいたし

調べ物でお悩みの方は、図書館員にお気軽にご相談

## “あの詩の全文は…?”

学校の先生から、このような質問をいただきました。

**Q** 「数十年前、サトウハチローの詩が学校の額に飾ってありました。『同じ釜の飯を食うと親しみがぐっと沸いてくる…』というような内容だったと思いますが、この詩の正確な内容が分かりませんか？」

1

インターネットで詩の手がかりを探す

この詩は何かの詩集に収録されているのか、全文はどのようなものなのか。ヒントを得るため、検索エンジンや、国立国会図書館のWebサイト「リサーチ・ナビ」<sup>\*1</sup> を使用し、「サトウハチロー」「釜の飯」「同じ釜」等のキーワードを組み合わせて検索します。

2

当館のOPAC(図書館の蔵書検索システム)や、詩に関する参考資料で調べる

まず『日本の詩歌全情報』<sup>\*2</sup> で、国内で刊行されたサトウハチローの詩集のタイトルを確認します。その中で、当館が所蔵している詩集に直接あたり、この詩が収録されていないか調査します。

今回の調べ物に使った資料はこちら

↑ ①で参照したWebサイト

\*1

国立国会図書館リサーチ・ナビ <<http://rnavi.ndl.go.jp/rnavi/>>

国立国会図書館の職員が調べものに有用であると判断した図書館資料、web サイト、各種データベース、関係機関情報を、特定のテーマ・資料群別に紹介するサイトです。キーワードや分野から、調べたい情報を効率よく探すことができます。

↑ ②で使用した本

★がついているものは、回答に役立った本です。

◆詩を調べるための参考資料◆

\*2

『日本の詩歌全情報 27/90』 ★(日外アソシエーツ 1992)

1927年～1990年に国内で刊行された詩、短歌、俳句、川柳などの作品集を収録した図書目録です。

◆サトウハチローの詩集◆

\*3

『あすは君たちのもの：詩集 1・3・選詩集』★(日本放送出版協会 1967,1969,1975)

『生活の唄』(朝日新聞社 1966)

『サトウハチロー詩集：好きな人のうた』(みゆき書房 1968)

『オレンヂ色のコマ』(サンリオ 1989)

『とんとんともだち(現代日本童謡詩全集 第19巻)』(国土社 2002)

『おかあさん：詩集 1～3』(日本図書センター 1998)

図書館はあなたの「知りたい」に応えます。

## 市町村図書館を通して貸出します

すべての県民の皆さんに県立図書館の資料を利用してもらうため、市町村の図書館などを通して資料の貸出を行っています。

- ①県立図書館に求める資料があるかどうかは、インターネットの蔵書検索(県立図書館HP)や、電話での問い合わせ(0852-22-5748)またはお近くの市町村図書館までおたずねください。
- ②借りたい資料が決まりましたら、お近くの市町村図書館(図書館未設置の4町村は中央公民館等)へお申し込みください。週1回市町村図書館等へ発送します。

# まず。図書館の上手な使い方。

～司書にきいてみよう！ 編～

ください。私たちが、調べ物のお手伝いをいたします。

**A** 以上の調査の結果、『あすは君たちのもの』\*<sup>3</sup>の第3巻に、「同じ釜のめしをくうと……」というタイトルの詩が収録されていることが分かりました。この詩の第一連が「たった一日でも／同じ釜のめしをくうと／したしみがぐっと増してくる／キモチのつながりが深くなる」というものです。

## … 閑話休題 …

「あすは君たちのもの」とは、NHK総合テレビで1966年4月から1969年3月にわたって放送された番組であり、番組のためにサトウハチローが寄せた詩を集めた本が『あすは君たちのもの』（全3巻）であることが分かりました。

第3巻巻末の付録「『あすは君たちのもの』の放送について」に、当時放送されていた内容が紹介されており、「同じ釜のめしをくうと……」については、

松江市立第四中学校で行われた「一日合宿」に関する記述がありました。当時の松江四中では、全校生徒が毎日交代で何人かずつ、校庭にある生徒会館で一日合宿をしており、この詩はその合宿についての思いを織り込んだものであるとのこと。

驚くべきことに、この詩は、サトウハチローが松江四中のために書いた詩だったのです。

### サトウハチロー (1903-1973)

詩人、作詞家、児童文学作家。本名は佐藤八郎。母親への思いをうたった詩を数多く手がけた。

主な作品に詩集『僕等の詩集』『おかあさん』、ユーモア小説『ジロリタン物語』、童謡「ちいさい秋みつけた」「うれしいひなまつり」、歌謡曲「リンゴの唄」など。

自由奔放なハチローの生涯については、妹の作家・佐藤愛子の長編小説『血脈』に詳しく描かれている。

## 読 書普及指導員・親子読書アドバイザーを派遣します

保護者参観や職員・ボランティアの方の研修会等で、親子読書や読み聞かせの基本的な考え方やポイントなどお話しします。

### 〈お問い合わせ〉

子ども担当 (0852-22-6077)

または、西部読書普及センター (0855-23-6785)

## 郷 土資料収集のお願い

島根に関する資料（古いものも、新しいものも）を収集・保存しています。ご寄贈、情報のご提供をお願いします。

# 親子読書アドバイザーが地域で活躍しています!

親子読書アドバイザーは今年7月、県内6カ所で島根県立図書館が養成講座を開催し、登録された地域のボランティアのみなさんです。地域の方の要望に応じて、絵本の読み聞かせの大切さなど、親子読書についてお話しする研修会を開催します。

## ■10月30日にAya母乳育児相談室（松江市）で開催された親子読書研修の様子

感想

とても楽しい1時間となり、参加者からも大変好評でした。紹介してもらった本をさっそく購入したという人もいました。私もあれから毎日、読み聞かせの時間をつくるようになりました。おしつけではなく、自然と読み聞かせの大切さ、楽しさを伝えていただいたように思います。図書館にも足を運ぶ機会が増えそうです。ありがとうございます。



あなたの地域でも親子読書アドバイザーを活用して、親子読書研修会を開きませんか。

お問い合わせ先 島根県立図書館 子ども担当 (0852-22-6077)

## 全国図書館大会が37年ぶりに島根県で開催されました!



平成24年10月25日～26日、第98回全国図書館大会島根大会が島根県民会館（ほか2会場）で開催されました。今大会の参加者は延べ1,400人、そのうち県外からの参加者は5割と、当初の予想を大きく上回りました。島根県からは4つの分科会で13の事例発表を行い、多くの参加者から、学校図書館活用教育をはじめとした島根の取り組みについて、大変参考になったという評価をいただいています。今後、島根県において「公共図書館と学校図書館などがさらに連携することで、読書活動の推進や学校図書館活用教育の充実が浸透していく」と予感させる、実りの多い大会となりました。

## I N F O R M A T I O N

### 島根県立図書館 利用案内

- 開館時間／火～金 9時～19時（3月～10月）  
9時～18時（11月～2月）  
土日・祝日 9時～17時（通年）
  - 休館日／毎週月曜日（祝日の時は開館）  
第1木曜、年末年始、特別整理休館
- ※詳しくは開館カレンダーをご覧ください。

〒690-0873 島根県松江市内中原町52  
TEL. 0852-22-5725 FAX. 0852-22-5728  
ホームページ <http://www.lib-shimane.jp>

人と人との縁結び 図書館だより は、本を読む愉しみを味わえるビジュアル情報誌です。  
しまねの、本・人・図書館にまつわる話題をお届けします。  
皆さんの「本のある暮らし」を応援します。

島根県立図書館報 図書館だより 第198号  
平成24年12月20日発行  
編集・発行／島根県立図書館

